

# かみねっちょ新聞

令和2年 2月号

## ～あなたの知らない飼育員の世界～

毎年、学校や会社で健康診断を行うように、動物園の動物たちも定期的に健康診断を行っています。ところが、動物たちに「健康診断やるよー」と言っても「はい、わかりました」とはなりません。ウサギやモルモットであれば抱っこをしてしまえばいいですが、百獣の王ライオンは？体の大きなクロサイは？どうやって行うのでしょうか。そこで、今回は陸上生物の中で噛む力最強の「ワニ」の健康診断についてご紹介します！

飼育員・中本

### <捕まえて安全確保！>

網で捕まえてからビニールテープで口と眼を巻きます。眼を隠してしまうとまるで置物のおとなしくなり、このように抱っこしても平気です。



### <レントゲン撮影>

全身は入らないので前と後ろにわけて撮影をします。骨や臓器の異常を確認します。



### <長さや体重測定>

長さは頭長、胴長、尾長に分けて測ります。それらを足すと全長になります。この時の体重は・・・4002gでした！



### <爪切りと採血>

血液は尻尾の裏側から抜きます。採った血液は外部機関で詳しく検査してもらいます。

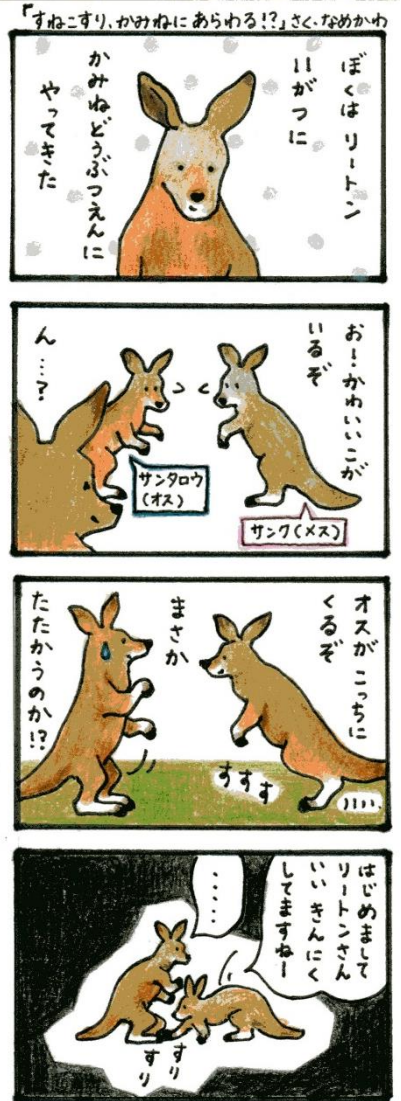


# 園長のひとこと

旅のお供に本をもっていく。最近読んでいたのは、「人体、なんでそうなった？」(ネイサン・レンツ著)。ヒトの体の構造的な欠陥を、他の動物や進化と絡ませながら面白く読ませるものである。たとえば、人間の喉のデザイン上の欠陥。空気と食べ物の入り口が同じなため窒息事故のなんと多いことか。鳥類や爬虫類を見よ、ヘビは大きな獲物を窒息もせず飲み込むではないか。また、ヒト特有の椎間板ヘルニア。他の霊長類のようにナックル歩行してれば良かったものを、調子に乗って直立2足歩行なんかを始めたものだから、そりゃ軟骨ちゃんもはみ出るわなあ。そして話は脳にも及ぶ。色々書いてあったが一言で言うなら脳は騙されやすい、というもの。確かに思い込みによる判断ミスはよくある。いわゆるヒューマンエラーだ。

昨年末、出張で関西方面へ出かけた時のこと。帰りは神戸空港から茨城へ向けこの本の続きを読もうと乗り込んだ。しかし飛行時間は1時間ちょっと。ひと眠りしたら着いてしまった。帰宅後、さて例の本を、とバッグをあさると、あっ(汗)やっちまった。前の座席ポケットに入れた本を、読まなかったものだからそのままにしてしまったのだ。ヒューマンエラーの本を読んでいてエラーしてしまった、シャレにならない。皆さん、脳には騙されないよう気をつけましょう、ちゃんちゃん!

※忘れた本は着払いで無事届きました。



はじめこそサンタロウのなぞのこうどう(すねこすり?)にヒまどうリーントンでしたが、いまはなかよしです。

## 3月の予定

どうぶつ総選挙 ネズミ Ver.: 投票期間 1日(日)~15日(日)、結果発表 22日(日)

ライオン「きぼう」誕生日会: 15日(日)

詳細はかみね動物園ホームページ <http://www.city.hitachi.lg.jp/zoo/>

または 0294(22)5586 までお問い合わせください

## \*もぐもぐタイムの時間\*

注意: 時間変更・中止になる場合もございます。



- |       |               |           |
|-------|---------------|-----------|
| 11:00 | ペンギン          | ■ は見学のみのみ |
| 11:30 | キリン           |           |
| 13:00 | マンドリル         |           |
| 13:15 | カピバラ          |           |
| 13:30 | チンパンジー<br>ウミウ |           |
| 14:30 | エゾヒグマ         |           |
| 15:15 | トラ・ライオン       |           |
| 15:30 | ペンギン          |           |



※水曜日のエゾヒグマのおやつタイムはお休みします。  
※はちゅうるいのふれあいタイムは土日祝 11時から 12時です。



## 日中の暖かい時間

ひなたぼっこする

動物をぜひ見に来てね

